

市の財政状況

市の財政の状況を知っていただくため、地方自治法第243条の3第1項の規定に基づき、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの収入・支出、基金、市債の現況をお知らせします。

一般会計の収入・支出

市の基本となる会計です。

歳入予算総額 392億 6,602万円
収入総額 321億 1,084万円(執行率 81.8%)

歳出予算総額 392億 6,602万円
支出総額 318億 5,437万円(執行率 81.1%)

市税の負担額

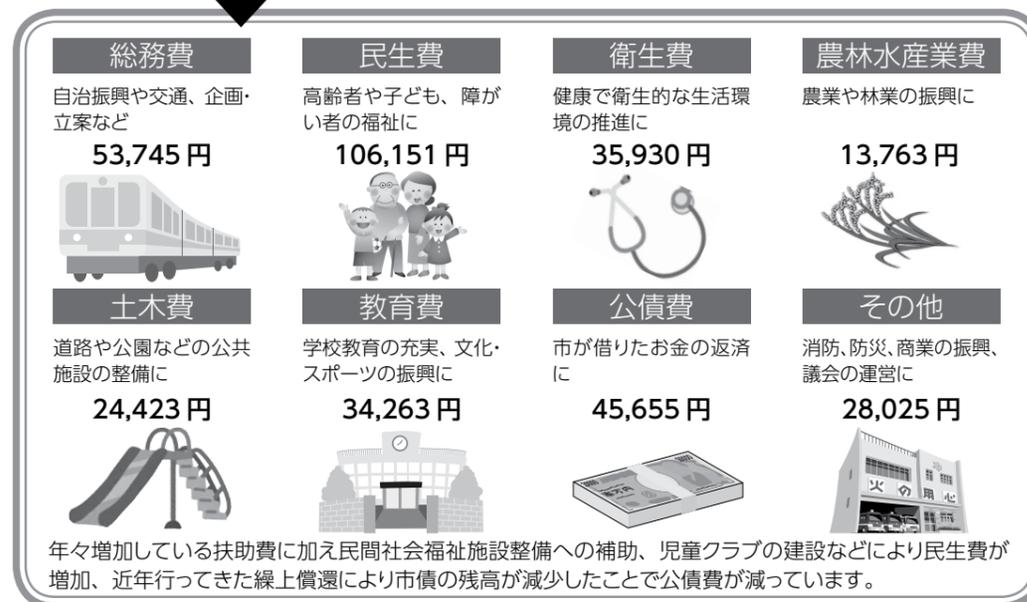
税金総額 132億 4,261万円
市税(個人市民税)の負担額
市民1人あたり43,313円
1世帯あたり120,258円

この執行状況は平成26年3月31日現在のものです。
平成25年度の決算額は、出納整理期間(翌年度の4月1日~5月31日)の執行を含めたものになります。決算の内容は、11月1日号でお知らせする予定です。

※「1人あたり」「1世帯あたり」の金額は、平成26年3月31日現在の人口:93,154人世帯数:33,551世帯をもとに計算しています。

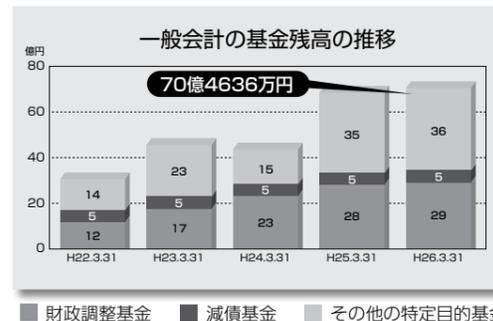
市民1人あたりに使ったお金

341,955円



基金の残高

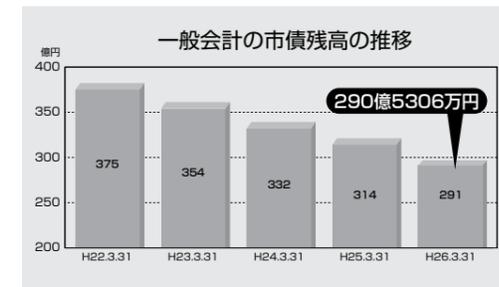
市の預金です。各年度の財源を調整するための財政調整基金や、将来の大きな支出に備えて積み立てている特定目的基金などがあります。
平成25年度では、市営住宅寺庄団地の建設に伴い公営住宅整備基金を取り崩したことによる減少はあったものの、地方交付税の増額分を財政調整基金や公共施設等整備基金に積み立てたことにより全体としては増加しています。



※基金残高は、「住みよさと活気あふれるまちづくり基金」(平成26年3月31日現在の残高38億7450万円)を除いています。この基金は、合併した後のまちづくりを進めるため合併特例債という特別な借金をして積立をしています。

市債の残高

市の借金です。道路や学校などの公共施設を作るときの財源として借りたものです。将来世代に負担を先送りしないように、期限よりも早くお金を返す「繰上償還」をしたり、返す以上に借りないこと(プライマリーバランスの黒字化)を守ったため残高は減ってきています。



※これらの数値は、各年度3月31日現在の数値であり、決算額とは異なります。

受章おめでとうございます

高齢者叙勲 旭日単光章

中川久二男氏(信楽町宮町)



昭和60年1月から3期約10年4カ月にわたり信楽町議会議員を務め、地域住民の声を町行政に届けるとともに、多くの諸課題に積極的に取り組み、円滑な地方行政の推進と町の発展に力を尽くされました。



▲中嶋市長から花束を受ける中川氏

第2回鈴鹿山麓無限∞会議を開催

第2回鈴鹿山麓無限∞会議が5月13日、東近江市の太郎坊宮・阿賀神社で開催されました。



▲連携の可能性について意見を交わす滋賀県と三重県8市町長

この会議は、鈴鹿山脈を境に三重県、滋賀県の隣接する8市町が、政策の広域連携や交流の活発化を図ることを目的に、昨年設置されたものです。

し、観光スポットや伝統産業など地域資源を紹介したほか様々な分野について情報交換が行われました。また今回は、8市町の特産品であるお茶が持ち寄られました。合同で「鈴鹿山麓のお茶」として全国に売り出すというアイデアが出されるなど、共通の地域資源であるお茶を使った連携の可能性について検討されました。

FBCコンクール春花壇 佐山小が環境大臣賞に輝く

学校花壇の出来栄を競う「フラワー・ブラボー・コンクール」で、県内の小中学校など74校が参加した中、佐山小学校の春花壇が環境大臣賞に選ばれました。



▲環境大臣賞に輝いた佐山小学校の花壇

ビオラやパンジーの青、赤、黄、白が鮮やかに配置された花壇のテーマは「世界に一つだけの花」。5年生の伊東かなさんがデザインし、一人ひとり違った花を咲かせ、夢や希望であふれる学校にしたいという願いが込められています。

委員長の吹上花恋さんは、「全校みんなで力を合わせ、きれいな花壇になった。頑張ってたかった」と受賞を喜びました。

また5月16日には、満開の花壇を囲んで全校児童がお花見給食を楽しみました。